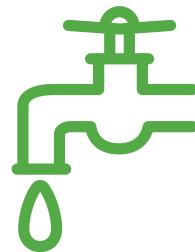
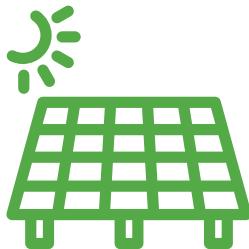




## 掲載内容

- 01 株主の皆さまへ／連結業績ハイライト
- 03 セグメント別業績概況
- 07 連結財務諸表
- 09 **特集** 環境問題に対するヤクルトグループの取り組み
- 11 **コラム** 腸と脳の間を、科学する。
- 13 商品紹介
- 19 ヤクルトのネットワーク
- 21 会社情報



特集

## 環境問題に対する ヤクルトグループの取り組み



株式会社ヤクルト本社

第70期 **株主通信**

2021年4月1日～2022年3月31日

# To Our Shareholders / Highlights of Consolidated Financial

## ごあいさつ



代表取締役社長

成田 裕

平素は格別のご高配を賜り、あつく御礼申し上げます。

ここに、2021年4月1日から2022年3月31日までの経営成績につきまして、連結の業績を中心にご報告申し上げます。

2022年6月



私たちは、生命科学の追究を基盤として、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します。

## 当期について

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい経済環境が残る中、各種政策の効果、海外経済・個人消費の改善傾向により、景気を持ち直しが期待されてきたものの、原材料価格の動向等による下振れリスクへの注視が必要な状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、事業の根幹であるプロバイオティクスの啓発・普及活動を展開し、商品の優位性を訴求してきました。また、販売組織の拡充、新商品の研究開発や生産設備の更新に加え、国際事業や医薬品事業にも積極的に取り組み、業績の向上に努めました。

この結果、当連結会計年度の連結売上高は4,151億円(前期比7.6%増)となりました。利益面においては、営業利益は532億円(前期比21.8%増)、経常利益は685億円(前期比19.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は449億円(前期比14.4%増)となりました。

なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は76億円減少していますが、利益面への影響はありません。

## 次期について

日本国内における乳製品につきましては、引き続き「ヤクルト」シリーズを最重点ブランドとし、「乳酸菌 シロタ株」の科学性を訴求していきます。社会環境の変化に対応し、継続的にマーケティング

## ●売上高

(億円)

5,000

4,000

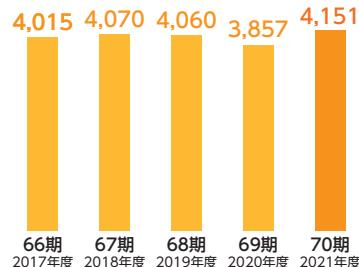
3,000

2,000

1,000

0

連結業績  
ハイライト



投資とチャネル施策を展開することにより、高付加価値商品のブランド育成と新たな需要創出を促し、乳製品の売り上げ増大に努めます。

宅配チャネルにおいては、高付加価値商品である「Yakult(ヤクルト)1000」および「ヤクルト400W」の継続的な「価値普及」活動により、お客さまづくりを推進します。また、ヤクルトレディが働きやすい環境の整備を促進するなど、宅配組織の強化を目指します。

店頭チャネルにおいては、社会環境や消費者意識・行動の変化に対応した施策を実施し、「Newヤクルト」類を中心とした乳製品の売り上げ増大とともに、高付加価値商品である「Y1000」のブランド育成を図ります。

清涼飲料につきましては、「タフマン」シリーズを重点ブランドとし、マーケティング投資等により販売を強化することで、売り上げ

の増大に努めます。

海外につきましては、既存事業所のさらなる事業の拡大、財務体質の強化および収益性の向上を図ります。

特に、ベトナム、インド、中国、米国および中東地域などの事業所については、経営基盤の強化と事業の成長を推進していきます。

今後の新規進出については、外部環境・内部環境を考慮し、慎重に判断していきます。

医薬品につきましては、本年4月の薬価改定における薬価引き下げの影響により減収となる見込みですが、徹底した経費の見直しに加え、組織統合による緊密な連携をとって業務効率化を進め、営業利益の確保に努めます。

## 配当について

当社は、継続的な増配を目指すことを最優先とし、将来の事業拡大や収益向上を図るための資金需要および財政状況ならびに当期の業績などを総合的に勘案して配当金額を決定しています。

上記方針のもと、2022年3月期の年間普通配当金額は、前期に比べて1株当たり20円増配の年額72円としました。すでに中間配当金36円を実施していますので、2022年3月期末の配当金については36円となります。

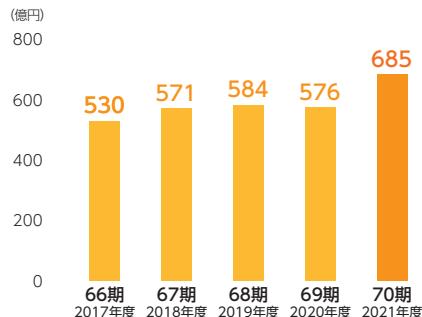
また、次期の配当については、株主の皆さまへより一層の利益還元を図るため、当期に比べて1株につき10円増配の年額82円を予定しています。

	当期	次期の見通し
売上高	4,151億円(前期比 7.6%増)	4,465億円
営業利益	532億円(前期比 21.8%増)	550億円
経常利益	685億円(前期比 19.0%増)	680億円
親会社株主に帰属する当期純利益	449億円(前期比 14.4%増)	455億円

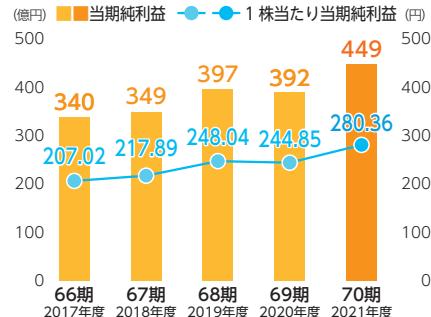
### ● 営業利益



### ● 経常利益



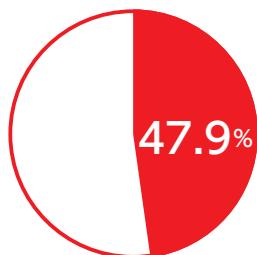
### ● 親会社株主に帰属する当期純利益 / 1株当たり当期純利益



# Financial Result by Segments

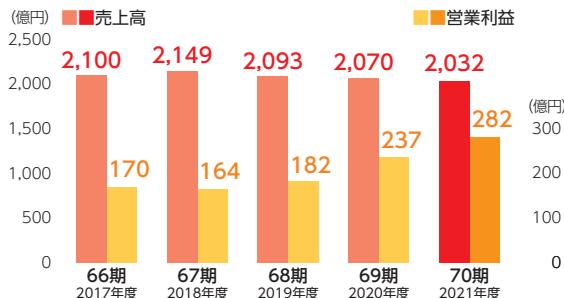
※セグメント別の売上高構成比は、セグメント間売上高の消去前金額に対する構成比です。

## 飲料および食品製造販売事業部門（日本）



売上高構成比

当期	
売上高	2,032 億円 (前期比: 1.8% ↓)
※収益認識基準適用前	2,254 億円 (前期比: 8.9% ↑)
営業利益	282 億円 (前期比: 18.8% ↑)



乳製品につきましては、当社独自の「乳酸菌 シロタ株」や「ビフィズス菌 BY株」などの科学性を広く普及するため、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じたうえで、地域に根ざした「価値普及」活動を広告施策と連動させながら展開しました。

宅配チャネルにおいては、乳製品乳酸菌飲料[Yakult(ヤクルト)1000]および「ヤクルト400W」を中心に、エビデンスに基づいた「価値普及」活動を実施するとともに、インターネット注文サービス「ヤクルト届けてネット」の活用やウェブサイトにおける情報提供を充実させることで、新規のお客さまづくりと既存のお客さまへの継続飲用の促進を図りました。また、宅配組織の強化を図るため、ヤクルトレディが働きやすい環境の整備を促進するとともにインターネットを活用した採用活動を積極的に実施しました。

店頭チャネルにおいては、乳製品乳酸菌飲料「Newヤクルト」類について、家族での飲用促進を目的としたキャンペーンを実施したほか、期間限定パッケージを展開することで店頭での視認性向上を図

り、売り上げの増大に努めました。

商品別では、昨年4月に「Yakult(ヤクルト)1000」、8月には「ヤクルト400W」の販売地区を全国に拡大しました。また、10月には「Yakult(ヤクルト)1000」の店頭向けシリーズ品である乳製品乳酸菌飲料「Y1000」を全国で発売しました。さらに、ハードタイプヨーグルト「ソフル」について、1年を通じて4品の期間限定アイテムを発売しブランドの活性化を図りました。

このような取り組みを中心に販売強化に努めた結果、乳製品全体では前期を上回る実績となりました。

一方、清涼飲料につきましては、栄養ドリンク「タフマン」シリーズのキャンペーンを実施するなど、売り上げの増大に努めたものの、清涼飲料全体では前期を下回る実績にとどまりました。

そのほか、東京ヤクルトスワローズのリーグ優勝および日本シリーズ制覇に伴い、応援していただいた皆さまに感謝の意を表すため、記念施策を実施しました。

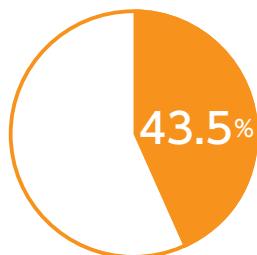
## News & Topics 2022

### 「パラビオ」シリーズから高機能美容液「パラビオ ACセラム サイ」を発売

ヤクルトの乳酸菌発酵技術を集結したエイジングケア\*ブランド「パラビオ」シリーズから高機能美容液「パラビオ ACセラム サイ」(医薬部外品)を2022年3月1日に発売しました。同シリーズの「パラビオ ACクリーム サイ」と同様にエイジングサインに幅広くアプローチする成分を贅沢に配合。軽やかにのびて美容液成分が溶け込むようにお肌になじみ、あとに使うアイテムがなじみやすいお肌にととのえます。\*年齢に応じたお手入れのこと



## 飲料および食品製造販売事業部門（海外）

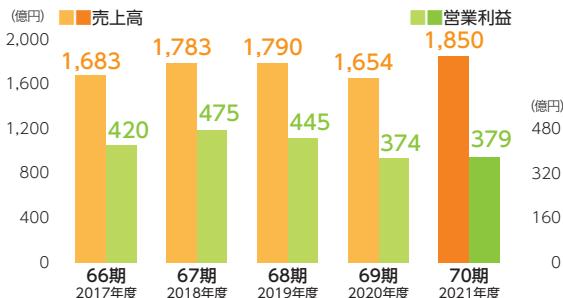


売上高構成比

## 当期

売上高  
**1,850** 億円  
(前期比: 11.8% ▲)

営業利益  
**379** 億円  
(前期比: 1.5% ▲)



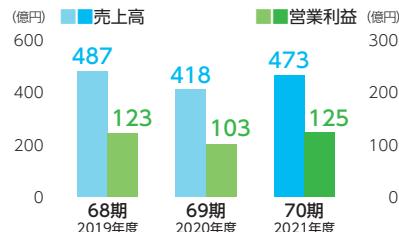
## 米州地域

売上高 **473** 億円 (前期比: 13.2% ▲)

米州地域においては、ブラジル、メキシコおよび米国で乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売しています。

米国においては、東部を中心とする積極的な新規開拓等により納入店舗数が増加した結果、販売実績は順調に推移し、本事業年度は過去最高の販売本数となりました。

その他米州地域では、宅配・店頭の両チャネルにおける販売体制の強化を図り、売り上げの増大に努めました。

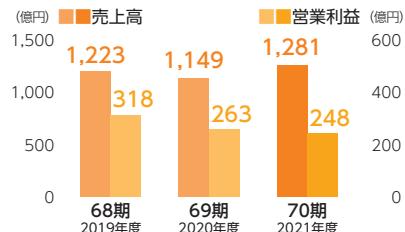


## アジア・オセアニア地域

売上高 **1,281** 億円 (前期比: 11.5% ▲)

アジア・オセアニア地域においては、香港、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、マレーシア、ベトナム、インドおよび中国などで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売し、アラブ首長国連邦(UAE)などでは「ヤクルト」などを輸入販売しています。なお、ミャンマーにおいては、政情等に鑑み、営業・生産活動を一時的に見合わせています。

インドネシアにおいては、販売強化策の実施や、着実な宅配組織の拡充と納入店舗数の増加により売り上げが増大し、本事業年度は過去最高の販売本数となりました。また中国においては、昨年8月に販売拠点を50か所に拡大し、さらなる販売体制の強化を図りました。また、生産体制の強化に向けて、無錫第2工場の建設を進めています。



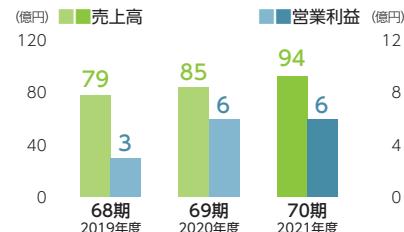
## ヨーロッパ地域

売上高 **94** 億円 (前期比: 9.9% ▲)

ヨーロッパ地域においては、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などをオランダで製造し、同国を含め、ベルギー、イギリス、ドイツ、オーストラリアおよびイタリアなどで販売しています。

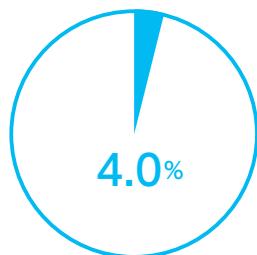
ヨーロッパにおいては、プロバイオティクスを普及するための活動に対する厳しい規制の中で、健康強調表示(ヘルスクレーム)の承認に向け、各種の取り組みを行うほか、各国の市場特性に合った販売活動の展開により、持続的成長を目指しました。

イギリスにおいては、昨年9月から実施している各種メディアを通じた広告展開および量販店施策などにより、販売実績は順調に推移しています。



# Financial Result by Segments

## 医薬品製造販売事業部門



売上高構成比

### 当期

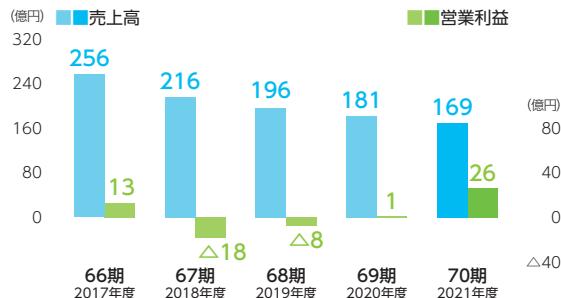
#### 売上高

169 億円  
(前期比: 6.2% ↓)

※収益認識基準適用前 176 億円  
(前期比: 2.4% ↓)

#### 営業利益

26 億円  
(前期比: - ↑)



医薬品につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う医療機関への訪問自粛の対応としてウェブ会議等を活用しながら、がんおよびその周辺領域に特化した当社製品等の啓発活動や適正使用を推奨する活動を推進しました。

当社の主力製品である抗悪性腫瘍剤「エルプラット」については、行政方針に沿って後発医薬品へ切り替える医療機関が増加傾向にあるものの、医療関係者の治療選択肢であり続けるために、先発医薬品を開発した当社の強みである情報提供力を活かした活動を展開しました。また、日本セルヴィエ社とプロモーション契約をしている抗悪性腫瘍剤「オニバイド®」については、プロモーション活動を積極的に行い、市場浸透および使用促進を図りました。加えて、本年3月には抗悪性腫瘍剤「ベルケイド」の後発医薬品である「ボルテゾミブ注射用3mg

「ヤクルト」を発売しました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、入院や手術の延期、受診抑制等により当社製品の使用機会が減少したことに加え、昨年4月に実施された薬価改定において大半の当社製品の薬価が引き下げられたことにより、前期並みの実績にとどまりました。

一方、研究開発においては、セキュラ・バイオ社(米国)から日本における開発および商業化に関する独占的ライセンスを受けているPI3K阻害剤「デュベリシブ」や、4SC社(ドイツ)から導入しているHDAC阻害剤「レスミノスタット」等の開発品目の臨床開発を推進しました。なお、「デュベリシブ」については、本年3月に再発または難治性の慢性リンパ性白血病/小リンパ球性リンパ腫に係る製造販売承認申請を行いました。

## News & Topics 2022

### ECサイト「Yakult Wellness Online」を開設

2022年3月14日、健康食品やサプリメントなどの商品を販売するECサイト「Yakult Wellness Online」(ヤクルトウェルネスオンライン)を開設しました。当サイトでは、「マルチプロバイオティクス」(30包入り)、「ケールのめぐり」、「ヤクルトのねむりナビ」、「ヤクルトのおつとめGABA」、「アミノパーフェクトシリーズ」などを取り扱っています。



<https://store.yakult.co.jp/>



# Consolidated Financial Statements

## 連結貸借対照表

単位：億円

科目	第69期 2021年3月31日現在	第70期 2022年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	2,668	3,003
固定資産	3,683	3,724
有形固定資産	2,030	2,111
無形固定資産	53	53
投資その他の資産	1,598	1,559
資産合計	6,351	6,728
<b>負債の部</b>		
流動負債	935	892
固定負債	1,017	986
負債合計	1,953	1,879
<b>純資産の部</b>		
株主資本	4,306	4,541
資本金	311	311
資本剰余金	409	411
利益剰余金	4,113	4,463
自己株式	△527	△643
その他の包括利益累計額	△257	△81
その他有価証券評価差額金	247	183
為替換算調整勘定	△484	△240
退職給付に係る調整累計額	△20	△23
非支配株主持分	348	388
純資産合計	4,397	4,849
負債・純資産合計	6,351	6,728

## 連結損益計算書

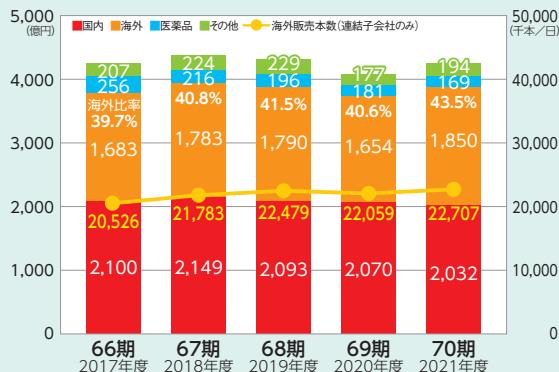
単位：億円

科目	第69期 2020年4月1日から 2021年3月31日まで	第70期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
売上高	3,857	4,151
売上原価	1,588	1,666
売上総利益	2,268	2,484
販売費及び一般管理費	1,831	1,952
営業利益	436	532
営業外収益	153	167
受取利息	37	33
受取配当金	20	19
持分法による投資利益	39	64
為替差益	26	24
その他	31	26
営業外費用	14	14
支払利息	7	6
その他	7	7
経常利益	576	685
特別利益	45	42
固定資産売却益	2	1
投資有価証券売却益	37	23
段階取得に係る差益	—	11
その他	5	5
特別損失	27	33
固定資産売却損	0	11
減損損失	4	16
投資有価証券評価損	6	0
新型コロナウイルス関連費	11	—
その他	5	5
税金等調整前当期純利益	593	694
法人税、住民税及び事業税	152	149
法人税等調整額	6	52
当期純利益	434	492
非支配株主に帰属する当期純利益	42	43
親会社株主に帰属する当期純利益	392	449

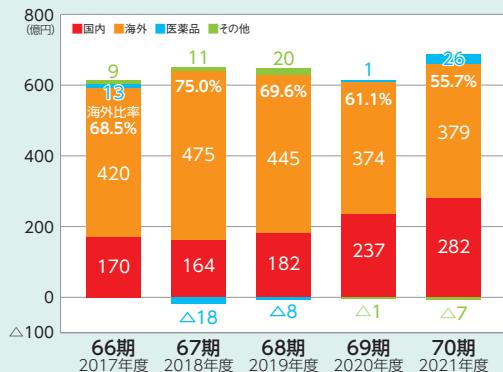
## 第70期のポイント

- 全体(増収・増益)
- 国内飲料(減収・増益)
  - ・ [Yakult1000](宅配)の全国展開・[Y1000](店頭)の新発売による販売数量増、増益
  - ・ 収益認識基準適用による売上減(生産資機材等)
- 海外飲料(増収・増益)
  - ・ 販売数量増
  - ・ 円安による為替のプラス影響等
- 医薬品(減収・増益)
  - ・ 薬価影響あるもプロモーションフィー増等により減収幅減
  - ・ 営業費用の減

売上高推移(連結) (注)セグメント間売上高の消去前金額で表示しています。



営業利益推移(連結) (注)全社費用等の調整前金額で表示しています。



## 連結キャッシュ・フロー計算書

単位:億円

科目	第69期	第70期
	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	2021年4月1日から 2022年3月31日まで
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	558	733
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△196	△118
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△312	△451
現金及び現金同等物に係る換算差額	△67	116
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△17	279
現金及び現金同等物の期首残高	1,245	1,227
現金及び現金同等物の期末残高	1,227	1,507

## キャッシュ・フローのポイント

- ① 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が前期と比較し、101億円増加の694億円となったことに加え、仕入債務等の支払いが減少したこと等により、前期と比較し、175億円の増加となりました。その結果、営業活動によるキャッシュ・フローは733億円となりました。
- ② 投資活動によるキャッシュ・フローは、前期と比較し、主に固定資産の取得による支出の増加や投資有価証券の売却による収入が減少したものの、定期預金(期間3か月超)からの払戻および固定資産の売却による収入が増加したこと等により、支出額が77億円減少しました。その結果、投資活動によるキャッシュ・フローは△118億円となりました。
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フローは、主に自己株式の取得による支出および配当金の支払額が増加したこと等により、支出額が139億円増加しました。その結果、財務活動によるキャッシュ・フローは△451億円となりました。

より詳細な財務情報は、当社ホームページの「IR情報」で各種資料がご覧いただけます。

<https://www.yakult.co.jp/company/ir/>

ヤクルト IR情報

検索

## 環境問題に対するヤクルトグループの取り組み

この特集記事では、ヤクルトグループの環境問題に対する取り組みをご紹介します。



### 環境ビジョン2050

「人と地球の共生社会を実現するバリューチェーン環境負荷ゼロ経営」  
～温室効果ガス排出量ネットゼロ(スコープ1・2・3)<sup>※</sup>～

自社のみならず地球や社会の持続可能性を高めるため、バリューチェーンで優先して取り組むべき6つのマテリアリティ(重要課題)を特定し、そのうち環境問題に関わるマテリアリティについては以下の目標を掲げています。

マテリアリティ/SDGs

環境目標2030

環境アクション(2021-2024)目標

#### 気候変動



温室効果ガス排出量  
(国内スコープ1・2)を  
2018年度比**30%削減**する

#### ●脱炭素社会の実現

温室効果ガス排出量(国内スコープ1・2)を  
2024年度末までに2018年度比**10%削減**する

#### プラスチック容器包装



プラスチック製容器包装の  
使用量(国内)を  
2018年度比**30%削減**  
あるいは**再生可能**にする

#### ●資源循環できる容器包装への転換

プラスチック製容器包装の使用量(国内)を、  
2024年度末までに2018年度比**5%削減**  
あるいは**再生可能**にする

#### 水



水使用量(国内乳製品工場：  
生産量原単位)を  
2018年度比**10%削減**する

#### ●水使用量の削減

水使用量(国内乳製品工場：生産量原単位)を  
2024年度末までに2018年度比**3%削減**する

※スコープ1・2・3：温室効果ガス排出量を把握する範囲

温室効果ガスのスコープについて(GHGプロトコルに基づく概要)

スコープ1：自社の事業活動での燃料使用に伴う直接排出量

スコープ2：企業が外部から購入する電力・蒸気・熱に関する間接排出量

スコープ3：事業活動に関連するサプライチェーンにおける間接排出量

## 具体的な取り組み

### ■ 国内12工場で購入電力をすべて再生可能なエネルギー電力へ切り替え

2022年4月から生産工程で使用する購入電力を、契約先の電力会社が提供する、実質的に再生可能なエネルギー電力にすべて切り替えています。

(湘南化粧品工場は2022年7月切り替え予定)



岡山和気ヤクルト工場のソーラーパネル

### ■ CO<sub>2</sub>削減を推進

本社工場やボトリング会社では、環境に配慮した設備の導入や照明のLED化、生産の効率化等を行いCO<sub>2</sub>削減を推進しています。また、グリーンで再生可能なエネルギーである太陽光発電も取り入れています。

### ■ 「Newヤクルト」等(5本パック)におけるストロー貼付廃止

2022年3月上旬から、「Newヤクルト」(5本パック)および「Newヤクルトカロリーーフ」(5本パック)の2品目について、プラスチック使用量の削減を目的に、ストロー貼付を順次廃止しました。



「Newヤクルト」(5本パック)

※6本パックおよび10本パックには従来からストローを貼付していません。

### ■ バイオマス素材の活用

2020年10月に「ヤクルトのはっ酵豆乳」において、バイオマスプラスチックを使用したストローおよびマルチシュリンクフィルムへの切り替えを行いました。



バイオマスプラスチックを使用していることをパッケージに記載

### ■ 処理水の循環利用・再生利用

福島工場では、製品の生産に使用する純水の製造過程で発生した濃縮水を製品や機械の冷却水として循環利用していたり、海外の一部の工場では、処理水をマイクロフィルターによって浄化し、トイレ用水やパレット・輸送車・排水設備の洗浄、工場の緑地への散水に再利用したりしています。



排水処理水を緑地への散水に利用 (メキシコヤクルト)

ヤクルトグループの環境活動への取り組み詳細は「ヤクルトCSRレポート2021」P22-43を参照ください。



## プロバイオティクスの継続飲用 “ストレスの緩和” “睡眠の質向上”のなぜ？

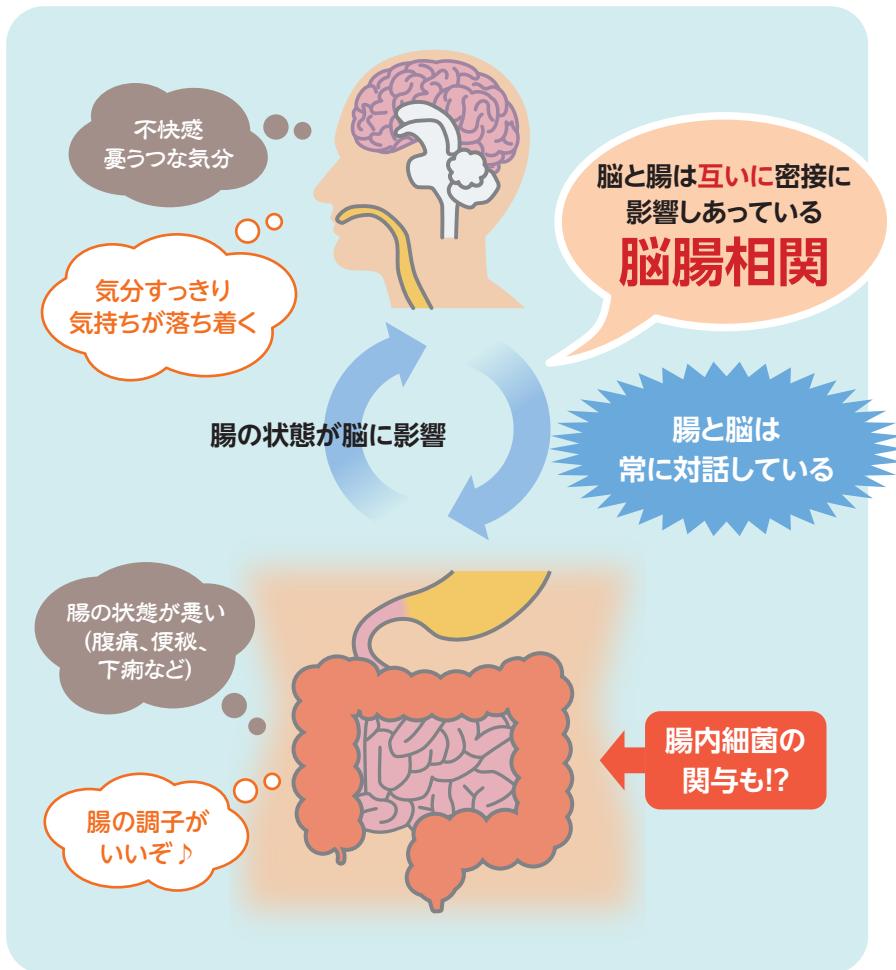
実は！  
腸の状態が  
脳に影響している！

### ～「脳腸相関」について～

**脳**と腸は、常に情報を交換し合い、互いに影響を及ぼし合う関係にあります。この関係を「脳腸相関」といいますが、近年の研究で、脳腸相関に、腸にすみつく腸内細菌が関与していることが次々に分かってきました。

**そ**こで、腸内フローラのバランスを整えるプロバイオティクス\*を利用すれば、腸から脳に影響を与えることができるのではないかと考え、右ページの飲用試験を行いました。

\*十分量を摂取したときに宿主に有益な効果を与える生きた微生物（FAO/WHOによる定義、2002）



# 一時的な精神的ストレス状況下でのラクトバチルス カゼイ シロタ株\*の作用 継続飲用することで、“ストレスの緩和”“睡眠の質向上”の機能を実証

※2020年4月以降は、ラクチカゼイバチルス パラカゼイ シロタ株と分類されています。

## 学術試験を控えた医学部の学生を対象としたL. カゼイ・シロタ株飲用試験

試験の8週間前から、  
毎日1本飲用



※睡眠に関する飲用試験では、さらに学術試験終了後3週間の計11週間飲用

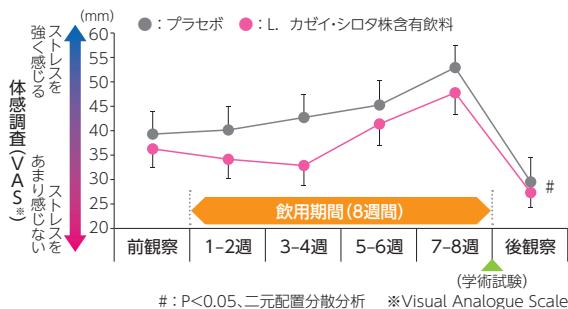
L. カゼイ・シロタ株を  
1,000億個含む飲料(100ml)を  
飲むグループ



L. カゼイ・シロタ株を  
含まないプラセボ\*(100ml)を  
飲むグループ \*疑似飲料



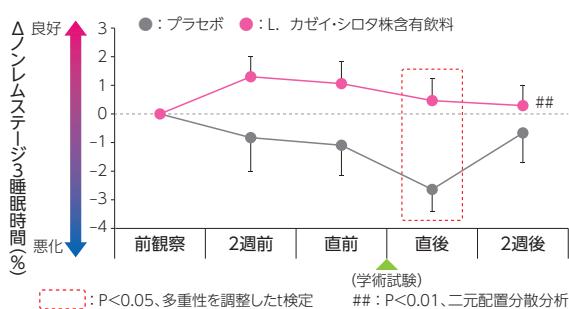
### 乳酸菌摂取によるストレス体感の変化



アナログ尺度(VAS)による体感調査では、L. カゼイ・シロタ株含有飲料飲用群で**ストレス体感が有意に低値**を示しました。

(加藤ら、2016一部改変)

### 乳酸菌摂取による熟眠時間の変化



最も深い眠りの段階ノンレムステージ3の時間を解析したところ、**プラセボ飲用群では学術試験直後に顕著な悪化**が観察されましたが、**L. カゼイ・シロタ株含有飲料飲用群では良好な状態**が保たれました。

(高田ら、2017一部改変)

上記飲用試験の詳細は、サイエンスレポートNo.34をご覧ください。



# Products Lineup

## 乳製品



▲ New  
ヤクルト



▲ Newヤクルト  
カロリーハーブ



▲ ヤクルト  
400



▲ ヤクルト  
400LT



▲ ヤクルト  
400W



▲ ヤクルト  
ファイブ



▲ Yakult  
(ヤクルト)  
1000



▲ Y1000

### ▼ ミルミル



### ▼ ミルミル S



### ▼ プレティオ



### ▼ BF-1 (ビーエフワン)



### ▼ ヤクルトのはっ酵豆乳



### ▼ ジョア (1日分のカルシウム&ビタミンD プレーン、1日分のカルシウム&ビタミンD ストロベリー、1日分のマルチビタミン ブルーベリー、1日分の鉄&葉酸 マスカット)



### ▼ ジョア (カルシウム&ビタミンD プレーン、鉄&葉酸 マスカット)



### ▼ ソファール (プレーン、LT、ストロベリー、元気ヨーグルト)



### ▼ アロエヨーグルト



### ▼ 1日分の鉄&葉酸ヨーグルト



清涼飲料



▲ヤクルト蕃爽麗茶



◀手軽に  
蕃爽麗茶  
(粉末タイプ)



▲爽涼健茶



▲タフマン (タフマン、タフマンV、タフマンスーパー、Tough-Man Refresh (タフマン リフレッシュ))



▲黒酢ドリンク



◀オリゴ糖入り  
梅ドリンク

▼ぎゅっと健康  
(アスタキサンチン、カシス、グルコサミン)



▼CHOBI (チョコビ)



▼ヤクルトのおいしい  
はっ酵果実



▲レモリア

▼ヤクルトの乳性飲料  
ミルージュ  
(Ca125、200、  
ミルージュ (500ml))



▼ミルージュ



▼ミルージュ  
ソーダ



▼ラックミー  
(コーヒー、バナナ)



▼調製豆乳  
国産大豆使用



# ■ Products Lineup

## 清涼飲料



▲お茶



▲珈琲たいむ  
(ミディアム、カフェラテ、ブラック)



▲カフェ・オレ



▲いちご・オレ



▲マイルド  
カフェ・オレ



▲マイルド  
いちご・オレ

## ▼きになる野菜 100

(贅沢野菜 1日分、1食分の野菜 β-カロテン、1食分の野菜 ポリフェノール)



## ▼きになる野菜

(アップル&キャロット、白ぶどう&ほうれん草、1食分の鉄 アップル&キャロット、たっぷり食物せんい 白ぶどう&ほうれん草、1食分のマルチビタミン 赤ぶどう&トマト)



## ▼野菜ジュース、野菜ジュース(食塩無添加)



## ▼オレンジジュース、アップルジュース、パイナップルジュース、グレープフルーツジュース



## ▼フルーツ青汁



## ▼さっぱりりんご



## ▼クイックチャージ



健康食品

◀ ごくごく飲める大麦若葉 栄養アップ

毎日うれしい  
ケールの青汁



◀ ハイパーケール

サプリメント  
(コラーゲン、  
ブルーベリー A、  
グルコサミン、  
DHA&EPA)



めん類

▼ 麺許皆伝  
(しょうゆ味、みそ味、しお味、  
とんこつ味、ソース焼そば)



▲ 佐賀の神埼  
(そうめん、ひやむぎ、  
中めん、うどん、そば)



▼ 乾麺物語  
(とんこつしょうゆらーめん、  
カレーうどん、汁なし担々麺、  
しょうゆらーめん、魚介醤油つけ麺)



# ■ Products Lineup

## 医薬品

### 医療用医薬品



◀カンプド



◀エルプラット



◀ゲムシタピン

### その他



▲ヤクルトBL整腸薬



▲1のチカラ

化粧品

スキンケア



▲パラビオ



▲リベシホワイト

エジティックス▼ ビサイクル▼  
モイストリペア リフトリペア  
エッセンス エッセンス



▲ヤクルト  
ビューティエンス  
プリリアント  
～ザ クリーム～



▲リベシ



▲ラクトデュウ

▼クリスタンス  
ホワイトリペア  
エッセンス



▼パラビオ  
ACセラム サイ



▼パラビオ  
ACクリーム サイ



ボディケア



▲コクルム

ヘアケア



▲ラミーヌS.E.

メイクアップ



▲パラビオ



▲グランティアEX

# Globalizing the Yakult Network

現在、日本を含む40の国と地域で、  
主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の製造・販売を行っており、  
世界中で毎日4,100万人を超える方々(2022年3月期 1日平均販売本数4,143万本)に  
ご愛飲いただいています。

## 【世界の販売本数】



海外：2021年1月～12月の1日当たり平均本数  
日本：2021年4月～2022年3月の1日当たり平均本数

### EUROPE

▶ 国と地域：13   
▶ 1日当たりの販売本数：68万本

#### ヨーロッパ地域

- オランダ
- ベルギー
- フランス
- イギリス
- ドイツ
- ルクセンブルク
- スペイン
- アイルランド
- オーストリア
- イタリア
- マルタ
- スイス
- デンマーク

### THE AMERICAS

▶ 国と地域：6   
▶ 1日当たりの販売本数：538万本

#### 米州地域

- ブラジル
- メキシコ
- ウルグアイ
- アメリカ
- カナダ
- ベリーズ

### JAPAN

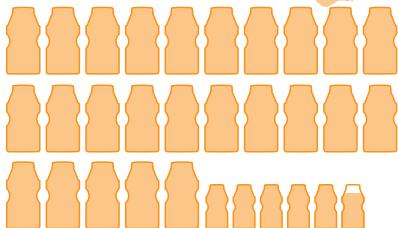
日本 ▶ 1日当たりの販売本数：979万本



### ASIA AND OCEANIA

#### アジア・オセアニア地域

▶ 国と地域：20  
▶ 1日当たりの販売本数：2,558万本



- 台湾
- 香港
- タイ
- 韓国
- フィリピン
- シンガポール
- ブルネイ
- インドネシア
- オーストラリア
- 中国
- マレーシア
- ニュージーランド
- ベトナム
- インド
- アラブ首長国連邦
- オマーン
- バーレーン
- カタール
- クウェート
- ミャンマー

## 株式会社ヤクルト本社

ヤクルト本社

本店：1 研究所：1

■支店：5 ▲工場：7

●販売会社 109社  
(うち連結子会社 24社)

ヤクルトレディ 約 32,700人  
ヤクルトビューティ 約 4,100人

●ボトリング会社 5社 (連結子会社)



## 【日本国内の連結子会社】

- 株式会社ヤクルトアセットマネジメント
- 株式会社岩手ヤクルト工場
- 株式会社千葉ヤクルト工場
- 株式会社愛知ヤクルト工場
- 株式会社岡山和気ヤクルト工場
- 株式会社福岡ヤクルト工場
- ヤクルト商事株式会社
- 株式会社ヤクルトマテリアル
- 株式会社ヤクルト球団
- ヤクルト食品工業株式会社
- ヤクルト薬品工業株式会社
- 株式会社ワイ・ビー・シー
- ヤクルトヘルスフーズ株式会社
- ヤクルトサポートビジネス株式会社
- 株式会社ヤクルトライフサービス
- 株式会社ホテルサン沖縄
- 株式会社ヤクルト・マネジメント・サービス
- 有限会社広島保険サービスセンター
- 株式会社はこだてわいん
- ヤクルトロジスティクス株式会社
- 南北海道ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト北北海道
- 大船渡ヤクルト販売株式会社
- 宮城中央ヤクルト販売株式会社
- 埼玉西ヤクルト販売株式会社
- 千葉県ヤクルト販売株式会社
- 東京ヤクルト販売株式会社
- 湘南ヤクルト販売株式会社
- 北信ヤクルト販売株式会社
- 新潟中央ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト東海
- 岐阜ヤクルト販売株式会社
- 名古屋ヤクルト販売株式会社
- 愛知中央ヤクルト販売株式会社
- 三重ヤクルト販売株式会社
- 近畿中央ヤクルト販売株式会社
- 和歌山ヤクルト販売株式会社
- 富山ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト北陸
- 株式会社ヤクルト山陽
- 新広島ヤクルト販売株式会社
- 山口ヤクルト販売株式会社
- 中央福岡ヤクルト販売株式会社
- 沖縄ヤクルト株式会社

# Information

## 会社概要

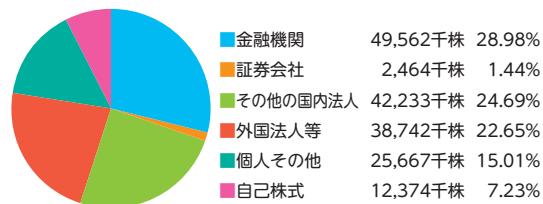
商号	株式会社ヤクルト本社 (Yakult Honsha Co., Ltd.)
設立	1955年4月9日
本店	東京都港区海岸1丁目10番30号
電話	03(6625)8960(大代表)
資本金	311億17百万円
従業員	2,836人

(注) 上記従業員数には、関係会社等への出向者295人および嘱託171人を含んでいます。

## 株式の状況

発行可能株式総数	700,000,000株
発行済株式総数	171,045,418株
株主数	31,642名

## 所有者別分布状況



## 所有株式数別分布状況



## 役員 (2022年6月22日現在)

代表取締役社長	成田 裕	取締役	平野 宏一	常勤監査役	山上 博資
取締役	若林 宏	社外取締役	安田 隆二	常勤監査役	川名 秀幸
取締役	石川 文保	社外取締役	戸部 直子	社外監査役	谷川 清十郎
取締役	土井 明文	社外取締役	新保 克芳	社外監査役	手塚 仙夫
取締役	林田 哲哉	社外取締役	永沢 裕美子	社外監査役	町田 恵美
取締役	平野 晋	社外取締役	阿久津 聡		*非常勤
取締役	今田 正男	取締役	内藤 学		
取締役	伊藤 正徳				

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	24,179	14.14
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	9,393	5.49
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	6,492	3.80
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口	4,957	2.90
共進会	3,872	2.26
松尚株式会社	3,417	2.00
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー 505234	2,375	1.39
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,771	1.04
ジェーピー モルガン チェース バンク 385781	1,741	1.02
日本生命保険相互会社	1,696	0.99

(注) 共進会は、当社の取引先であるヤクルト販売会社を会員とする持株会です。  
上表のほか、当社は自己株式12,374千株を保有しています。

## ホームページのご紹介

当社のホームページでは、会社情報、IR情報、商品情報、CSR活動などさまざまな最新情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さまに向けましては、トップメッセージ、決算短信、有価証券報告書のほかIRニュースなども掲載しております。ぜひご覧ください。



<https://www.yakult.co.jp/>

## 株主優待

毎年3月31日現在で100株以上ご所有の株主さま  
当社商品詰め合わせを贈呈

- ※1,000株以上ご所有の株主さまは商品内容が異なります。
- ※ご所有期間3年以上の株主さまは「化粧品」を追加で贈呈します。
- ※2022年3月31日現在で対象となる株主さまには、6月上旬に発送しています。

毎年9月30日現在で100株以上ご所有の株主さま  
東京ヤクルトスワローズ  
オフィシャルファンクラブ(スワローズクルー)に  
無料でご入会いただける権利をご提供

- ※ご所有株数によってご入会いただける会員種別が異なります。
- ※入会についてのご案内は、12月上旬に発送予定です。

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
株主総会	定時株主総会 毎年6月中 臨時株主総会 必要に応じ随時
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日

公告掲載方法 電子公告 <https://www.yakult.co.jp/>  
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京証券代行株式会社

事務取扱場所 〒101-0054  
東京都千代田区神田錦町三丁目11番地  
(NMF竹橋ビル6F)

(郵便物送付先)  
(連絡先) 〒168-8522  
東京都杉並区泉和二丁目8番4号  
東京証券代行株式会社 事務センター  
☎0120-49-7009

### 株式に関する手続きについて

1. 未支払配当金のお支払い  
株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。
2. 住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定など  
お取引の証券会社等にお申し出ください。なお、特別口座に記録された株式の手続き(証券会社に開設した口座への振替など)に関しましては、すべて当社の特別口座管理機関である東京証券代行株式会社にお問い合わせください。



# Yakult

株式会社ヤクルト本社

証券コード 2267

東京都港区海岸 1 丁目 10 番 30 号

TEL : 03-6625-8960 (大代表) <https://www.yakult.co.jp/>